



竜王みはらしライン開通式

今号のもくじ

ページ	主な内容
2	改選後の市議会議員
3～5	平成29年度予算概要
6	補正予算審査
7～12	総括質問 10名の議員が質問

ページ	主な内容
12～13	常任委員会報告
14～15	第1回定例会議決結果
16	わがまちに望む夢

改選後の市議会議員 (50音順)

任期 平成29年4月24日～平成33年4月23日

あん 安	どう 藤	し 志	ほ 保	い 伊	とう 藤	かつ 勝	や 也	うめ 梅	もと 本	ひで 秀	あき 明	
おか 岡		とみ 富	お 雄	おか 岡	もと 本	じゅん 純	しょう 祥	か 加	むら 村	ひろ 博	し 志	
かめ 亀	やま 山	ひろ 弘	みち 道	き 木	むら 村	ひさ 尚	と 登	こ 児	だま 玉	けい 敬	そう 三	
しち 七	かわ 川	よし 義	あき 明	しょう 正	だ 田	よう 洋	いち 一	しん 新	もと 元		あきら 昭	
すえ 陶		のり 範	あき 昭	すぎ 杉	たに 谷	たつ 辰	じ 次	たか 高	き 木	たけ 武	こ 子	
たか 高	はら 原	しん 伸	いち 一	た 田	なか 中	ひろ 裕	き 規	てら 寺	だ 田	もと 元	こ 子	
とく 徳	しげ 重	まさ 政	とき 時	なか 中	しげ 重	のぶ 伸	お 夫	に 仁	の ノ	おか 岡	のり 範	ゆき 之
はぎ 萩		ゆ 由	み 美	ひら 平	もと 本	えい 英	じ 司	ぶん 分	の 野	たつ 達	み 見	
まさ 政	ひら 平	とも 智	はる 春	みや 宮	がき 垣	ひで 秀	まさ 正					

「歴史と文化を大切にしたいまちづくりを推進する都市みはら」宣言をする決議について

市議会では、平成29年第1回定例会において、「歴史と文化を大切にしたいまちづくりを推進する都市みはら」宣言をする決議を全員一致で可決しました。

「瀬戸内三原築城450年事業」は、あらためて郷土の歴史、文化、伝統に目を向けるきっかけとなった。

私たちのまち三原には、先人たちが築いてきた史跡や社寺、古墳などを初めとした文化遺産が数多く存在する。

また、城下町の往時をしのばせる歴史的町並みや古い建築物などの歴史的資産が今もなお地域に息づき、郷土の魅力としてその光を放っている。

私たちは、それらを市民共有の財産であると再認識し、古きものを尊び

大切にしてゆく心を育むとともに、後世に引き継いでいかねばならない。このような認識のもと三原市議会は、ふるさと三原の歴史、文化、伝統の継承を図るとともに、それらと調和したまちづくりを推進していくことを決意し、ここに「歴史と文化を大切にしたいまちづくりを推進する都市みはら」を宣言する。

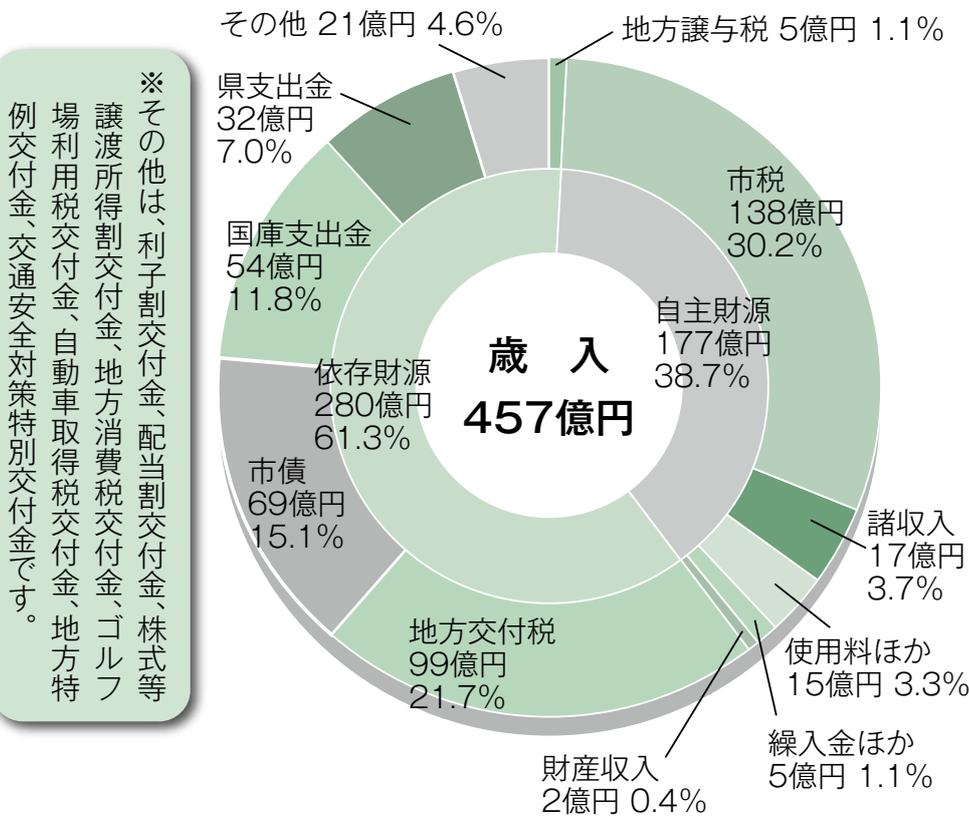


三原城跡のある風景

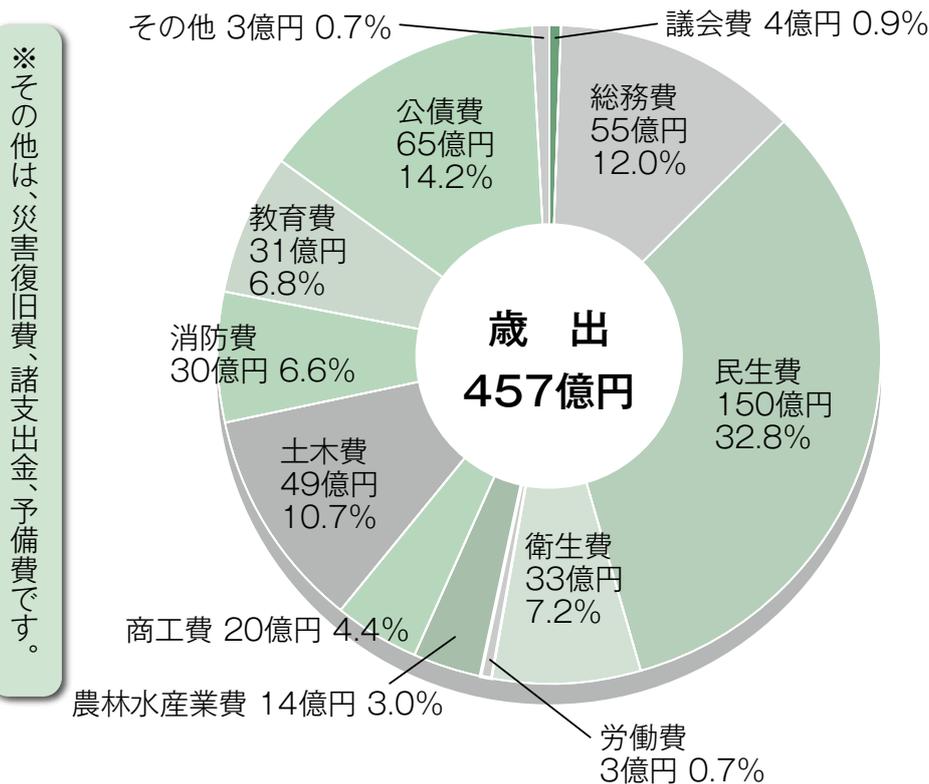
「活力と安心」のまちづくり予算

平成29年度一般会計・特別会計・企業会計の予算と関連議案について、3月9日から14日の4日間、予算特別委員会で慎重に審査した結果、全会計の予算と関連議案が可決となりました。
ここでは予算概要及び審査の主な内容を紹介いたします。

一般会計(歳入)



一般会計(歳出)



予算特別委員会（質疑の抜粋）

三原市部等設置条例の改正

Q 新たに設置する危機管理監の平時における業務は何か。

A 危機管理監のもとに、危機管理課を配置

し、地域防災計画、国民

保護計画及び事業継続計画等の策定をはじめ、災害を想定した訓練等の企画、実施等を行う。



災害の対応にあたる災害対策本部



横断歩道白線が薄れた市道

【総務費】

安心・安全なまちづくり

事業

Q 交通事故の検証とその後の改善はどのようになっているか。

A 区画線や一時停止線の引き直し、警戒標識をはじめ、道路照明、横断歩道の設置など、死亡事故の状況に応じた改善を講じている。

Q 住民組織活動支援事業

町内会組織を強化す

ることは市の喫緊の課題だと思うが、市職員の加入率はどうか。

A 78・9%だ。今後、職員の意識の高揚を図っていくため、職員研修を進めていきたい。

Q 市民協働のまちづくりとして、最低限のモラルではないか。

A 職員は率先して取り組むよう、いっそうの指導をしていきたい。

【民生費】

デイサービスセンターさぎうらの指定管理について

Q 29年度の指定管理料の設定根拠と再来年以降の継続についてはどうか。

A 27年の収支決算に基

づいて、29年度の指定管理料を設定した。再来年度以降も現在の医療法人に継続要望をしているが、同法人から継続困難との申し出があるため、対応方針について検討する。



三原市デイサービスセンターさぎうら

【衛生費】

広域市町村圏事務組合への負担金

Q 不燃物処理工場のアルミ缶、アルミガラのプレス前の製造量と買い取り業者が計量した搬出量に差異があるが、計量方法はどうなっているか。

A 不燃物処理工場の計量器では、10t車での引

き取りの場合は、計量できないため、買い取り業者で計量した売却量としている。

Q アルミ2種の買い取り業者2社の計量器は、法定検査を受けているか。

A 受検の確認はしていない。業者との信頼関係で計量を委ねている。

Q 市の計量に対するチェック体制に大きな不備があるが、調査及び報告時期について、熱意ある対応を求めます。

A 5月末までに原因究明を図り、その結果を6月議会で報告する。

【農林水産費】

漁業改良事業「三原食のブランド化」

Q みはら食のブランドのタコについて、タコ漁のできる方が少なくない、不安を感じる。どのようにされているか。

A タコの漁師は13人でなかなか後継者ができていない。小学5年生を対象にタコつば漁体験などの水産教室を開催し、将来の担い手の確保に努めている。全国の担い手事業の研究をしてタコ漁の繁栄に努めたい。

【商工費】

観光プロモーション事業

Q 観光看板の設置だけではなく、ライブカメラを設置して情報発信をしようか。

A 過去に観光協会が設置したが、落雷等による故障も多く維持管理に課題がある。有効な手段の

一つであるが、SNSなどを活用し、情報発信に努める。

【土木費】

道路の維持管理

Q 他市で街路灯が腐食により倒壊し事故が発生している。本市における街路灯の安全確認体制はどのようになっているのか。

A 市が管理している道路照明灯514灯について、点検調査を行い、倒壊や落下等の恐れがある照明灯は全て修繕または取り替え工事を行っている。

【教育費】

郷土を愛する子どもの育成事業

Q 築城450年事業に関連した特別な事業を行う予定はないか。

A 今の段階では計画はない。学校単位で、浮城まつりの甲冑行列への参加や小早川隆景の学習成果を発表する取り組みを行っている。公立中学校生徒会連合会が関連行事への参加を希望しているので、検討していきたい。

【討論・採決】

【討論】

予算特別委員会で審査された35件の議案のうち、一般会計予算、国民健康保険（事業勘定）後期高齢者医療、介護保険特別会計予算ほか5件の関連議案について反対討論、全議案について賛成討論が行われた。

【反対討論】

市財政は、市税収入や地方交付税が減少し、地方債残高だけが高止まりであり大型箱物事業がラッシュだ。

駅前図書館移転18億円は市民の賛同を得ておらず新斎場建設も地域住民が反対のまま進めている。国保予算は58億円の財政調整基金から2億円の繰り入れで税の引き下げを求める修正案こそ市民の願いだ。

【賛成討論】

三原城築城450年のメイン期間を迎える年度であり、交流人口の増加など「三原版・三本の矢」を掲げ、政策課題に

取り組もうとしている。ソフト・ハード両面で積極的な予算だが、財政状況にも配慮されている。

国保特別会計は5年引き上げておらず、法定外繰り入れを行うことなく運営されていることは社会保険加入者などの市民からも賛意を得られると考

【反対討論】

不燃物処理工場で中間処理した有価物を入札業者が引き取っているが、製造量と売却量に大差があり、昨上期の金額換算で209万円相当となり、三原市民・世羅町民が不利益を被ったことになる。

速やかに第三者機関に調査を依頼すべきだ。事業系ごみの値上げをお願いする一方でさまざまな対応だ。

【採決】

討論された議案第1号はか8件は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか26件については、全員一致、原案どおり可決した。

不燃物処理工場



補正予算の概要

第1回定例会では、平成29年度予算の審査に先立ち、4028万円を減額する平成28年度一般会計補正予算（第7号）ほか10件が提出され、3月3日（金）の補正予算特別委員会で審査し可決しました。以下では、補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介いたします。

補正予算特別委員会（質疑の抜粋）

コミュニティFM事業について

Q リージョンプラザにFM局を整備することになった経緯について聞

A にぎわい創出の観点から、市民の参加ができ

るよう駅前をはじめ中心市街地にある複数の施設の比較検討を行い、タイムスケジュールと採算性から選定した。

Q 道の駅指定管理者による寄附について

A 指定管理者による寄



FM局が整備される三原リージョンプラザ

附は初めてであるが、指定管理者制度において収益が出た場合の寄附行為と今後の管理のあり方について問う。

A 今回は、寄附という形をとっているが、収益施設、黒字施設についての余剰金等の取り扱いのルールづくりを早急にしたい。

指定管理の在り方については、今年度から庁内に経営企画会議を設定し、個々の指定管理をどのようにしていくかという検討を始めている。

Q 指定管理者の寄附が指定管理者の固定化につながらないか。

A ルールづくりができていない中での寄附だが、一定期間を定めての指定であり、その懸念はない。

第6期介護保険事業計画

Q 第6期介護保険事業計画中の施設整備の進捗状況と、目標達成に向けた取り組みについて聞く。

A 小規模地域密着型介護老人福祉施設について

は、昨年10月に公募したが、人材確保等が難しいため、応募が無く予定通りに進んでいない。対策として人材の確保のため、28年度より研修費助成を行っている。

また、介護老人施設の整備については市内の法人等に働きかけ、整備計画の目標達成に積極的に取り組んでいく。

【討論・採決】

補正予算特別委員会で審査された議第36号について、反対の討論が行われた。



にぎわいのある道の駅みはら神明の里

・反対討論

生活道路の整備など市民要望には十分な補正予算での対応がない一方、10億7千万円の繰上げ償還を行っている。

【採決】

討論された議第36号は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか10件については、全員一致、原案どおり可決した。

また、市と契約関係にある指定管理者「道の駅みはら」からの指定寄附500万円は受けるべきではなく、指定管理者の剰余金の取り扱いについては明確な規定を設けるべきだ。

市政を問う

今定例会では3月7日、8日に総括質問が行われ、10人の議員が質問に立ちました。その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。掲載事項は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3カ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp> → 市議会 → 会議録検索
映像ライブラリー

市民合意なき 駅前図書館移転の中止を



寺田 元子 議員
てらだ もとこ

問 私が実施した市民アンケートの回答210人中、駅前箱物づくり反対が約8割を占めた。駅前図書館やテナント施設は市民の同意を得ていないのではないかと。また、大型事業で膨らんでいく地方債残高で悪化する市政の影響が市民生活に及ぶのではないかと。

答 市民の意見を聞き、議会同意も得ながら進めてきた。駅前への図書館移転のパブリックコメント結果では半数以上の人が賛成だった。図書館と広場の総事業費は、国の交付金と基金を充てることとしている。市民生活にしわ寄せが生じないよう、計画的に事業を進めていきたい。

問 丁寧な市民意見を吸い上げていけば、こういう開発にはならないはずだ。箱物行政から脱却す

べきではないか。市政は大きな災害でも起きたら対応できず、借金のツケが市民に回るのではないかと。

答 魅力的な図書館ができれば、駅前の交流や賑わいの拠点になると考える。今後も繰り上げ償還を行い、地方債残高の縮減と基金残高を確保したい。

市民を交通事故から 守る対策強化を

問 横断歩道や停止線が市内全域で消えているが、県や警察に対して予算増額を求めるべきではないか。市内では14年間に109件の交通死亡事故がおきているが、その後の安全対策はどうか。

また、尾道三原線は横断中6件の歩行者が犠牲になっている。信号機設

置や連続照明等設置など対策に乗り出すべきではないか。

答 県や公安委員会に対して予算確保など抜本的改善を強く要望したい。

尾道三原線については、関係部署と連携を密にして道路照明灯の設置に取り組んでいきたい。

問 市民の命を預かる市長として県との連携を強めていくべきではないか。

答 交通事故のない、住みやすい三原を築くため、道路関係をこれから入念にチェックしていきたい。



死亡事故が起きた主要地方道尾道三原線(中之町)

その他の質問事項

- 中学卒業までの医療費完全無料化を
- 公園トイレの洋式化を



トップライトが改修される三原リージョンプラザ



仁の
おかのりゆき
岡 範之 議員

平成29年度予算編成について

問 厳しい財政事情の中、公共施設の維持管理、修繕などの市民要望に対応できるか。

答 平成29年度の予算編成に当たって、歳入は市税や地方交付税等の一般財源が年々減少している。歳出面では、まちづくり推進のために、新規事業や拡充事業及び総合戦略事業実施のための一

般財源を確保しなければならぬ。そのために、所属部署の裁量により、予算要求を枠配分方式により昨年度より5%削減した予算要求になっている。普通建設事業や枠配分に納まらない大規模修繕事業は、枠外での予算要求を認めており、歳入歳出の状況を見ながら、優先順位を定め、別枠で予算配分している。

平成29年度の施設整備等は、前年度を上回る予算を計上している。また、市民要望による公共施設の修繕や道路修繕等については、優先順位を定めて、順次実施していく。

年度途中での要望については、その緊急度等に応じて、予算の範囲内で実施していく。予算の追加等が必要なものは、財源の調整を図りながら、補正予算に計上していく。

市政運営について

問 雇用と企業誘致については、市内の海岸線に立地している各企業へ、新規事業の導入や遊休地への新たな企業誘致を働き掛けてはどうか。

答 遊休地、遊休工場への新たな企業誘致の働きかけについては、既存企業や新規企業への訪問を積極的に行っている。また、市内外の様々な企業から、新規立地の問い合わせなどがあることから、海岸線に立地する各企業とは連携を図り、情報交換を行っている。

問 スポーツ振興の推進については、スポーツ振興基本計画を策定し、スポーツを通じて本市の活性化と賑わいを創出してはどうか。

答 現在、今後10年間のスポーツ振興計画を進めている。

特に、大規模スポーツ大会等の開催や地域を超えた交流、市外からの利用促進、さらに、競技団体や学生等の合宿での活用にも取り組む。



たかき
たけこ
高木 武子 議員

商工業の充実の取り組みについて

問 ベンチャー企業の活性化、起業化促進の現状と具体的な取り組みについて問う。

答 地域経済の新たな活力を生み出すためには、産業の集積及び地域産業が育ちやすい環境整備と、総合的な起業の育成支援体制の強化が必要と考えており、総合戦略においても重点的に取り組む事業と位置付けている。

創業支援事業計画が国の認定を受け平成27年度から産官学金による協議会を設立している。

成果として相談支援機関を利用した、延べ創業者数は98人、延べ支援者数は175人となっている。

継続した支援を強化し新たな活力の創出につなげたい。

問 仮称本郷地区産業団地に関する問い合わせ状況

況と企業立地の可能性について問う。

答 広島県と本市の共同事業として実施している。事業は予定どおり進捗しており、現在、開発許可申請中である。

第1期分は、32年12月の完成を予定している。

問い合わせの状況については、山陽自動車道沿線や瀬戸内沿岸において、産業用地が不足しており、企業ニーズの高い大規模画地の提供が可能などことから、県、市に対して複数の問い合わせが寄せられている。

早期分譲に向け県と調整した上で、ターゲット業種を絞り、具体的な企業訪問計画を立て、誘致活動を展開していく予定としている。

今後の生活密着型交通体系のあり方について問う。

問 市民生活の利便性と福祉の向上に資することを目的とした、地域公共交通網形成計画を策定し、新たな交通サービスの導入や路線再編等を通じ、地域公共交通の活性化と維持確保を図っている。地域の現状や課題を熟知している地域住民が主体に、検討し、自分たちの移動手段を守り、支えていくことが不可欠であり、地域住民、市、交通事業者の三者が協働で取り組むものである。



デマンド交通

コミュニティ交通の体系整備の取り組みについて



かむらひろし
加村博志 議員

東本通区画整理事業の促進について

問 事業の進捗状況と事業推進の課題は何か。

答 28年度末の事業進捗状況は、61億9600万円の執行予定で、進捗率は67・5%、都市公園7カ所のうち5カ所を供用開始し、関連する公共下水道事業は、主要な雨水管渠の整備がほぼ完了している。事業推進の課題については、事業に対するご理解と合意形成、国の交付金や保留地処分金などの財源確保が主な課題である。



東本通土地区画整理事業

問 喫緊の課題として取り組む地方創生事業の人口減少対策の有効手段として、平成35年度までの事業計画期間を短縮する考えはないか。

答 早期の事業効果が出るよう幹線道路等の整備を中心に事業を進めた結果、大型店の出店、認定こども園等の立地が進み、事業区域内人口も増加している。今後事業の重要な財源である国の交付金の確保、保留地の販売を推進し、早期の事業完了に努める。

アクセス道路の取り組みについて

問 木原道路は、三原バイパス糸崎ランプから尾道バイパスを繋ぐ3・8kmの道路で、う回路がなく、度々の交通渋滞、異常気象時の交通規制など長年の課題である。全体

の工事の進捗状況と今後の予定について問う。

答 昨年度までに、内島高架橋と下木原高架橋は完成し、糸崎地区では赤石トンネルの工事に着手している。事業の促進を積極的に国や県に働きかける。

問 一般県道三原本郷線は、広島空港と中心市街地を繋ぐ道路で、国道2号の混雑時や交通事故発生時等の代替道路となるほか、1市3町を結ぶ重要な役割を担っている。現在の改良状況、今後の予定と本郷地区産業団地内を通り県道下徳良本郷線までの道路整備の状況について問う。

答 西野地区では、延長1・16km区間の用地買収を進め、道路改良工事に着手した。小坂地区では、道路改良工事を行っている。高坂地区では、延長約0・8kmの測量設計を行っている。本郷地区産業団地内から県道下徳良本郷線までの道路改良は、団地造成工事と合せて、今年度より工事に着手する。



しょうだ よういち
正田洋一 議員

周産期医療体制整備について

問 周産期医療体制整備について、私が平成26年2月定例会で問題提起を行ったが、現在までの状況について問う。

答 三原赤十字病院の分娩中止に伴い、岡山大学医局に市長、病院長が医師派遣の要望を行った。また、広島県周産期医療協議会への医師派遣の要望を行ったが、備北地域を優先したいとの回答だった。

また、県知事と市長との懇談会においても要望を行った。こうした対応を行っているが、医師確保には至っていない。26年から市内の産科医療機関、医師会、広島県を交えた産科医療検討会を開催し、28年度から市内の医療機関に対し、分娩1件につき、1万円の補助制度を創設し、分娩の体制支援に取り組んでいる。

問 医師確保に向けた市独自の支援を検討してみるのだろうか。

答 市として取り組める特効薬が見いだせていないが、引き続き市内の産科医、医師会など意見交換し、最大限の努力を行う。

ブランドデザインについて

問 私は以前から本市のブランドデザインの必要性を求めてきたが、どのようなものを作って、どのように使うか。また、誰が作るのか問う。

答 どのようなものかについては、本市の50年先を想像し、中心部が将来どのようなまちをめざすのかその方向性として、景観の考え方、発展のイメージ、エリア毎のめざすコンセプトなどを定め、ハード・ソフト両面

から青写真を描く。どのように使うかについては、公共事業や建物、道路などを整備する際には、これを参考にする。誰がかについては、現在素案を作成中で、今後、市民、経済界、専門家の意見を聞きながら策定する。

問 50年先を想像するなら40年、30年、20年、10年先までに何をやらなくてはならないか策定するもつとよいものができるのではないか。

答 明確なスケジュールをすぐに策定することは困難であるが、今後検討していく。





こにし まさと
小西 真人 議員

「三原市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」について 若者層の支援制度の拡充を

問 人口減少に歯止めをかけ、活力ある市にするため、もっと若者に対して、しっかりと後押しをすべきであるがどうか。

答 三原市人口ビジョンでは、市内の若者が20歳前後で大きく転出超過となり、社会減の一因となっている。これは市外への進学や就職によるものである。就職時期の若者への支援・結婚や子供を生ま育てたい希望を持つ若者への支援等、若年層のライフステージに応じた支援策に取り組んでいる。さらに、若年層が住みたい環境整備に取り組んでいく。

問 他の市と同じような支援策ではなく、市独自の特色のあるアイデアを考えていくべきと思うがどうか。

答 特色、個性を活かして取り組むことは重要である。本市の個性の代表例は、陸海空を結ぶ交通結節点である。交通のハブとして位置づけられ、周辺市、広域圏で連携していけば、個性をまだまだうまく活かすことができ、働く場づくりや交流人口拡大、住みよさ向上などに貢献できるものと考えている。

液体ミルクの 取り組みを

問 液体ミルクは、成分が粉ミルクと同じで、紙パックやペットボトルに無菌状態で密封され常温保存が可能な人口乳である。夜間や外出時の授乳が手軽で、水や燃料が確保できない災害時に使用

できる大きな利点がある。東京都は防災対策として、大量購入する方向で検討を進めている。自治体レベルでこのような現実的な需要を示せばメーカーも取り組みやすいと思う。市として、このような先取りの取り組みを考えてはどうか。

答 本市においては、災害時の乳児用ミルクとして、現在、粉ミルクを備蓄するとともに、お湯が沸かせない状況でもミルクを作ることができるといったことがセットとなっている。キットを備蓄している。今後、国の動向等を注視し、情報収集に努め、国内で製造、販売が認められ、課題整理が可能となれば、備蓄品の一つとして検討したい。

液体ミルクは、成分が粉ミルクと同じで、紙パックやペットボトルに無菌状態で密封され常温保存が可能な人口乳である。夜間や外出時の授乳が手軽で、水や燃料が確保できない災害時に使用

液体ミルクは、成分が粉ミルクと同じで、紙パックやペットボトルに無菌状態で密封され常温保存が可能な人口乳である。夜間や外出時の授乳が手軽で、水や燃料が確保できない災害時に使用



市民のわがまち満足度について



かめやま ひろみち
亀山 弘道 議員

問 「三原は活気がない。人口が減る一方だ」と、市民は自信と誇りを失いつつある。

答 現在、施策に反映させるため重要度・満足度に関する調査結果を集計・分析中で、整理出来次第、公表する。

問 市民一人一人が、正しい情報から正しく現状を理解し、展望を持つことで、マイナスの感情を払拭し、わくわくしながらまちづくりに参加することが重要だ。5カ年計画「みはら元氣創造プラン」を全戸配布し、正しい情報を提供してはどうか。

答 このプランの充実に向け着実に取り組み、暮らしやすくなったと感じるまちづくりを進め、さらにはその成果を市民に知らせることにしっかりと

取り組む。小さなチャレンジを一つ一つ達成することが重要だ。市民が、市内での消費活動をふやすことで、達成感・貢献感・所属感を味わえる「ちよつと待って三原でも買える運動」はどうか。

問 今後、市民協働を進めていくうえで、「達成感を生む体験を積み重ねていく」という考え方を参考にして取り組んでいく。

答 地域にあったプランを説明することを今後考えていく。出前講座についても検討する。

問 車が入れないなどの理由で生産年齢層が出ていった地域に暮らす市民は、買い物や通院に困り将来が見通せず、不安を感じている。こんな地域のまちづくりのプランはどうなっているか。

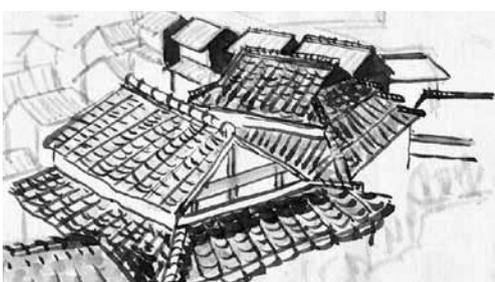
答 間もなく平成37年を

目標年次とした「都市計画マスタープラン」で将来に向けたまちづくりの方針を示す予定だ。策定に当たっては、地域別に市民説明会を開催し、市民の意見を伺いながら、各地域の将来像について検討していく。

問 様々な暮らしにくさの改善例をそれぞれの町に提示できないか。また出前講座等で、地域に合ったプランを紹介することはできないか。

答 地域にあったプランを説明することを今後考えていく。出前講座についても検討する。

●その他の質問事項
■教育行政について



糸崎の家並

総括質問



おかもと じゅんしょう
岡本純祥議員

「財政見通し」について

問 本市では、業者は景気は好転していると感じているが、現年課税分は増となっているがどうか。また、財源見通しは。

答 本年度当初予算の市税は前年比、市民税3・9%増、固定資産税0・9%増で、昨年12月末の調定をもとに算出した。固定資産税では、土地分が2・2%減、家屋2・1%増、償却資産3・8%増を見込み、現年課税分で1・1%の増収を見込んでいる。今後の市税の見通しは、昨年6月に作成した「財政推計」では、経済成長率を1%と見込んでおり、今後も財政推計以上の額を確保するように努めていく。なお、今年6月には本年度当初予算をベースとした財政推計を行う予定としている。市税をはじめとした財源の見込み額についても改めて示したい。

水道事業(企業会計)について

問 本年度から簡易水道事業が水道事業に統合される。今後も一般会計からの繰り入れは維持されるのか。また、いつまで継続されるのか。

答 久井・大和地区における簡易水道事業は、投資の効率性が低いため水道料金収入だけでは経費を賄いきれない状況にある。このため一般会計からの補助が必要であり、収支不足額は、補填を受けることで市長部局と合意している。

問 今後老朽管の整備が進められると考えるが、経費、期間、財源は。水道料金への影響はどうか。

答 水道施設は、順次更新時期を迎えており、法定耐用年数を超える資産は、28年度末には21%、20年後には57%と増加する。このことから、施設の重要性を考慮して法定耐用年数とその1・5倍で更新する施設に区分すると、年平均約16億円の更新費用となる。29年度策定する水道事業経営戦略で、今後の投資計画を更に精査し、投資額を抑制し、財政計画を策定する。水道事業は、受益者負担の原則のもとに独立採算で経営しており、水道料金は最も大きな財源であるが、市民生活に直接影響するため、慎重に研究していきたい。



大和の浄水場急速ろ過機

ポポロの防音対策について



あんどう しほ
安藤志保議員

問 消防本部庁舎の移転に伴う防音対策について、バックステージのシャッターを防音のものにする、人の出入りが可能なドアをつけることが必要だ。当初予算に盛り込まれなかったが、引き続き検討しているのか。

答 使用器具の関係や出演者、スタッフの出入り等の関係からシャッター、大扉を完全密閉しない状態での使用もあることから、ソフト、ハード両面からの有効策を現在、市、指定管理者、ポポロの設計事務所と検討している。

問 救急車の出動要請に対して、道が狭くて家まで行くことができない状況は出動件数のうち何

割か。その場合の対応は。

答 ① 消防では車両の進入が困難な地域を把握しており、昨年は36件で本市の救急出動件数の約1%。対応としては、緊急車両の進入が困難な地域を地図上に落とし、その地域からの通報に対して、救急要請と同時に救急車と消防車が出動している。

② 軽救急車については、小回りが大きく反面、患者の応急処置も極めて難しく、積載する救急資機材も限定され、患者の症状によって資機材を入れかえる必要があるなど、出動から現場到着に時間を



江田島市の軽救急車両

要するというデメリットもあるため、導入時の効果については今後も十分調査検討する。

問 江田島市では平成25年、28年と計2台導入され、高規格救急車とほぼ同様の資機材を積んでおり、積み替えの必要はない。救急車到着時間が、平均で3・3分、最大で7分短縮されている。本市でも有効ではないか。

答 三原消防では、救急車と消防車が同時出動することでいち早く現場到着するよう努めている。

■その他の質問事項
●「第2次環境基本計画」策定について



まつうら よしかず
松浦良一 議員

平成29年度の施政方針について

問 ①地方創生「元気な三原」「瀬戸内元気都市」の具体的な取り組みは。
②本郷地区産業団地の年度毎の事業計画は。
③新斎場建設の推進状況と国有地保安林解除の見通しについて。

答 ①人口減少など厳しい状況においても総合戦略の着実な実行により本市の地方創生を実現し、「みはら元気創造プラン」が将来像として描く、「行きたい、住みたい、つながりたい、世界へはばたく瀬戸内元気都市みはら」の実現に向け取り組む。

②本郷産業団地は、企業誘致の新たな受け皿となる用地確保を平成27年12月に事業着手し、県と本市の共同事業とし、整備期間は、32年12月までの5年間を計画実施する。
③保安林解除申請書はすでに提出しており、解除

時期については、権限が国にあることから、具体的には未定だが、近いうちに解除されるものと考えている。また、周辺地域住民には、新斎場建設について理解いただけるよう引き続き説明会の開催をお願いしていく。

市道本町45号線の道路整備について

問 なぜ着手できないのか。

当面の交通障害の早期対策はできないのか。

答 市道本町45号線は、昭和48年に都市計画道路本町西線として将来的に幅員16mに拡幅をするよう都市計画決定されている。この路線は、延長約290mで、道路幅員が平均的に6m程度、両側に電柱、街灯など合わせて37基が設置され、通行車両の支障となっている



市道本町45号線

とともに、通学路に指定されていることから、児童を含めた歩行者の安全確保を図る必要があり、早期に道路整備が必要である。

昨年の12月の議会に続き、再度質問を受け、検討をしている。本路線は、近年の三原バイパスをはじめとした市街地の幹線道路網の整備が進み、その役割は変化している。そのため、整備の方向性は時間を要する都市計画変更について、早急に検討する必要がある。早いうちに関係機関及び地元商店街などと協議する。

常任委員会報告

総務財務委員会

2月定例会付託議案審査

議案第47号「三原市個人情報保護条例等の一部改正について」

【要旨】 個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、本市条例に所要の整備を行うもの。

【主な質疑の内容】
問 条例改正の趣旨は。
答 これまでは、いわゆる番号法に規定された法定事務に限り、認められていた情報連携が、法律の改正に伴い、三原市が条例に制定している、独自利用事務の一部についても可能となるため、これに伴い必要となる条例の改正を行うものである。

これにより、転入され

た市民が、乳幼児等医療費支給、ひとり親家庭等医療費支給、及び、重度心身障害者医療費支給を申請する際に、従前は窓口で求められていた、所得の状況を証明する書類等の提出が不要となることから、市民の利便性の向上につながるものと考えている。

なお、今後、この独自利用事務の情報連携については、国が示す対象事務のうち、可能なものについて検討し、対象事務の範囲を拡大させていきたいと考えている。

議案第50号「三原市新庁舎建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について」

【要旨】 新庁舎建設工事（建築主体工事）請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】
問 最低価格で入札した

事業者が、2者であったことに伴う、落札者決定の経緯は。

答 入札及び開札の手続きは、広島県の電子入札システムを利用して行っているが、その電子入札システム「電子くじ」によって落札者を決定した。

議案第52号「三原市新庁舎建設工事（空調換気設備工事）請負契約の締結について」

【要旨】 新庁舎建設工事（空調換気設備工事）請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑の内容】
問 低入札価格調査委員会による調査の経緯は。

答 開札において、低価格入札と判断した時点で開札の手続きを途中で止め、委員会が、調査を実施した。最低価格で入札した事業者に対して、適正な履

厚生文教委員会

2月定例会付託議案審査

議第55号「三原市大和診療所運営基金条例制定について」

【要旨】「三原市大和診療所運営基金を設置し、使用する医療機器等の購入、更新等の財源を確保することで、大和診療所の健全な運営に資するため、条例を制定したいとするもの。」

【採決】採決の結果、議第47号については、起立採決の結果、賛成多数をもって、また残余の7件については、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

【主な質疑の内容】

問 今後の基金の運用については。

答 今年度は平成27年度決算の剰余金を積み立て、以降は各年度決算剰余金の半分を目処として積み立てていく予定である。

問 今後の医療機器の更新については。

答 主な医療機器の耐用年数は10年程度であり、それを踏まえた10年間の更新計画をたてている。この更新計画をもって積み立てていく基金により、高額な医療機器の購入に備えていく。

【採決】

採決の結果、議第55号について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

経済建設委員会

2月定例会付託議案審査

議第56号「三原市道の駅施設整備基金条例制定について」

【要旨】「道の駅みはら神明の里」の施設整備を目的とした、新たな基金を設けるため、条例を制定するもの。」

【主な質疑の内容】

指定管理者の「道の駅みはら」

問 指定管理者は民間事業者であり、内部留保も考えられるのではないか。

答 今回の寄附行為については、指定管理者が向こう3年間の内部留保はできているという自主的な判断のもと、それを上回る、いわゆる剰余金にあたる部分から、将来的な設備投資や、修繕等に充てる財源として活用してもらいたいとの意向に基づくものである。



道の駅みはら神明の里

問 当指定管理者とは昨年12月に指定管理契約を来年度から3年間継続することが決定している。このような中で、寄附行為は市民に疑念を持たれるのではないか。

答 あくまでも指定管理者からの善意によるもので、これまでの道の駅設立の経緯や経営状況、指定管理者の気持ちなどを総合的に勘案して、受け

附行為を契機として、疑念を持たれないためにも、拠出根拠が明確になるようなルール作りが必要であると認識している。

議第57号「三原市営住宅設置、整備及び管理条例の一部改正について」

【要旨】久井町及び大和町の特賃住宅の入居要件を変更し単身入居を可能とするため、及び市営住宅の管理業務について指定管理者の導入を可能とするため、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑の内容】

問 市営住宅の管理業務について指定管理者を導入した場合、家賃滞納への対応はどのように変わるのか。

答 指定管理者が行う特定業務と市に残る業務があり、悪質滞納者への対応は、市に残る業務として従前と変わらない対応となる。

【採決】

採決の結果、議第57号ほか9件について、全員一致、提案理由を了とし、原案どおり可決した。

平成29年6月定例会開催予定 (平成29年5月1日現在)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
6	5	月	10時～	本会議 開会
	8	木		本会議 一般質問
	9	金		本会議 一般質問
	12	月		常任委員会 (総務財務委員会)

月	日	曜	開会予定時刻	会 議
6	13	火	10時～	常任委員会 (厚生文教委員会)
	14	水		常任委員会 (経済建設委員会)
	15	木		補正予算特別委員会
	19	月		14時～

【全員賛成のもの】

議案番号	件名	議決結果
議第2号	平成29年度三原市ケーブルネットワーク事業特別会計予算	原案可決
議第3号	平成29年度三原市港湾事業特別会計予算	原案可決
議第4号	平成29年度三原市駐車場事業特別会計予算	原案可決
議第5号	平成29年度三原市土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議第6号	平成29年度三原市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議第7号	平成29年度三原市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第8号	平成29年度三原市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第9号	平成29年度三原市小型浄化槽事業特別会計予算	原案可決
議第11号	平成29年度三原市国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計予算	原案可決
議第14号	平成29年度三原市東町財産区特別会計予算	原案可決
議第15号	平成29年度三原市中之町財産区特別会計予算	原案可決
議第16号	平成29年度三原市沼田西町松江財産区特別会計予算	原案可決
議第17号	平成29年度三原市小泉町財産区特別会計予算	原案可決
議第18号	平成29年度三原市本郷町本郷財産区特別会計予算	原案可決
議第19号	平成29年度三原市本郷町船木財産区特別会計予算	原案可決
議第20号	平成29年度三原市本郷町北方財産区特別会計予算	原案可決
議第21号	平成29年度三原市水道事業会計予算	原案可決
議第22号	三原市部等設置条例の一部改正について	原案可決
議第23号	三原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議第24号	過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議第25号	三原市議会議員及び三原市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議第26号	三原市立保育所の延長保育事業等の実施に関する条例の一部改正について	原案可決
議第27号	三原市農業委員会の委員等の定数に関する条例制定について	原案可決
議第28号	三原市歴史民俗資料館等設置及び管理条例の一部改正について	原案可決
議第29号	三原市公民館設置及び管理条例及び三原市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正について	原案可決
議第30号	三原市建築手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議第37号	平成28年度三原市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第38号	平成28年度三原市港湾事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議第39号	平成28年度三原市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第40号	平成28年度三原市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第41号	平成28年度三原市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第42号	平成28年度三原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第43号	平成28年度三原市小型浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第44号	平成28年度三原市国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第45号	平成28年度三原市国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第46号	平成28年度三原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第48号	三原市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議第49号	三原市コミュニティホーム設置及び管理条例の一部改正について	原案可決
議第54号	山陽本線糸崎構内青木こ線橋補修他工事委託契約の変更について	原案可決
議第55号	三原市大和診療所運営基金条例制定について	原案可決
議第57号	三原市営住宅設置、整備及び管理条例の一部改正について	原案可決
議第58号	市道路線の認定について	原案可決
議第59号	市道路線の認定について	原案可決
議第60号	市道路線の廃止について	原案可決
議第61号	市道路線の廃止について	原案可決
議第62号	市道路線の認定について	原案可決
議第63号	市道路線の認定について	原案可決
議第64号	市道路線の認定について	原案可決
議第65号	市道路線の認定について	原案可決
議第66号	市道路線の認定について	原案可決
同第1号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
同第2号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
同第3号	三原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
発第1号	「歴史と文化を大切にしまちづくりを推進する都市みはら」宣言をする決議について	原案可決
発第2号	三原市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
発第3号	三原市議会会議規則の一部改正について	原案可決

【賛否が分かれたもの】

議案番号	件名	議決結果	平本	正田	安藤	萩	児玉	岡	徳重	伊藤	亀山	政平	新元	高木	松浦	陶	加村	谷杉	中重	中村	岡本	荒井	梅本	分野	小西	七川	寺田	力田	仁ノ岡
			英司	洋一	志保	由美子	敬三	富雄	政時	勝也	弘道	智春	昭	武子	良一	範昭	博志	義隆	仲夫	芳雄	純祥	静彦	秀明	達見	真人	義明	元子	忠七	範之
議第1号	平成29年度三原市一般会計予算	原案可決	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	平成29年度三原市国民健康保険(事業勘定)特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第12号	平成29年度三原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第13号	平成29年度三原市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第31号	三原市介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第32号	三原市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号事業の人員、設備及び運営並びに指定第1号事業に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第33号	三原市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第34号	三原市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第35号	三原市指定地域密着型サービス事業者の指定に関する事項並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第36号	平成28年度三原市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第47号	三原市個人情報保護条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	三原市新庁舎建設工事(建築主体工事)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第51号	三原市新庁舎建設工事(電気設備工事)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第52号	三原市新庁舎建設工事(空調換気設備工事)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第53号	三原市新庁舎建設工事(給排水衛生設備工事)請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議第56号	三原市道の駅施設整備基金条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
同第4号	三原市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
諮第1号	人権擁護委員の候補者に関する諮問について	異議なしと決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
諮第2号	人権擁護委員の候補者に関する諮問について	異議なしと決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※ 賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 議長：議〔議長は採決に加わりません〕

編集委員のつげやき

平成27年8月1日号のVOL41から、今回のVOL48の2年に渡り、本市の未来を担う子供たちの笑顔あふれる表情を表紙に載せ、お届けしてきました。これからも多くの皆さんに「議会」を身近に感じて頂くために、創意工夫を重ねながら、委員、力を合わせて「議会だより」の作成に取り組んで参ります。

皆さんのご意見、ご感想をお聞かせください。

児玉 敬三

議会広報特別委員

正田 洋一・伊藤 勝也・児玉 敬三
岡 富雄・亀山 弘道・寺田 元子
力田 忠七

※「市議会だより」は、市役所1階ロビー・各支所・サンシープラザ・中央公民館・各地のコミセンでも配布しております。

三原市議会広報特別委員会
三原市館町二一五一一
TEL 67-6137
FAX 63-4545

バトンをつないで

「大丈夫？」三年生の時、運動場で転んで足をすりむいてしまった私を優しく抱き起してくれたのは、六年生のお姉さんでした。

「六年生ってすごい、あんな六年生になりたい」と私が強い印象を受けた出来事でした。

大和小学校は、大和町内五つの小学校が統合して五年目ですが、これまで先輩達はすてきな取組をして卒業していきました。

大和小学校の先輩達が残してくれた取組の一つに「お・と・め」の挨拶があります。

先輩方は、これまで「大きな声で・止まって・目を見て」、「おはようございます。」と進んで挨拶をする校風を着実に築いてくれました。

また、大和小学校の伝統になりつつある「ありがとうの花」の取組では、「あなたの○○なところがすごいよ」と一人一人のよいところや感謝の気持ちをメッセージに書いてくれました。それは、教室にある「ありがとうの木」に貼って伝えますが、そんなところまで私達を見てくれていたの！」といつも感心していました。私達もこの花を低学年の人にとくさくさ届けられるような六年生になりたいです。

また、運動会等の全校行事や縦割り班掃除の時等、進んで準備をしたりみんなをやさしくリードしたりしてくれました。私達のあこがれの先輩達に多くのことを学びました。

四月には晴れて私達も六年生になりました。大和小学校の先輩達からの熱く重いバトンを受け継ぎました。率先して掃除をしたり、整列したり、やさしい声かけをしたりしてみんなのお手本になるような行動をしていきたいと思えます。受け継いだこのバトンにさらに磨きをかけ、次に引き継げるよう私達も頑張っていけます。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第29回 —

僕は、三原市須波町に住んでいます。須波町には、その名の通り、瀬戸内海に映る山の形が、まるで筆のように見えることから命名された筆影山があります。

僕が住んでいるのは、その山の中腹のため、家の窓から見ると一月一日の初日の出は、空へ登っていく太陽と、その光を浴びてオレンジ色にキラキラ光る瀬戸内海が、何とも幻想的で美しいです。筆影山の山頂まで登っていくと、そこには展望デッキがあります。山頂は視点が高くなるため、より広大な瀬戸内海、そして海に点、点とある多くの瀬戸の島々を一望することができそうです。

筆影山の自慢は景色だけではありません。筆影山を色どる春の花は桜です。山のいたるところがピンク色に染まり、遠目で見るとまるで一本の大きな桜の木に見えるほど、山の全てがピンク色になります。そして秋には紅葉が見られ、山一面が、赤、黄、オレンジ、緑に包まれます。特に春は温かいのもあり、多くの人がハイキングやお花見、ドライブなどに訪れます。自転車で登る人までいます。人がたくさん訪れてくれることはうれしいですが、その人数が増えるにつれ、ゴミが多くなってきている気がします。道の脇に無造作におかれたカン、山に投げ捨てられたビニールや紙袋。良い景色を求めてやって来る人々の気持ちをそこねかせません。

僕はこの幻想的で壮大な景色を地球の財産である自然に「見させてもらっている」と思っています。だから、自然を敬う気持ちを最低限持つべきだと思えます。一人一人が自然を敬い大切にすれば、ゴミも減っていくし、より美しい景色を望めるはずです。筆影山の自然に育てられた僕たちが、自然を守る活動を推進し、恩返しができるようになりたいです。

